

安心安全な住みよいまちをめざして

平成23年度
決算報告

一般会計歳出総額 104億148万5千円

平成23年度の一般会計および特別会計決算が、12月定例議会においてそれぞれ認定されました。一般会計の決算は、歳入111億83万4千円、歳出104億148万5千円で、差額6億9,934万9千円を平成24年度に繰り越しました。

会計別決算状況

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	11,100,834	10,401,485	699,349
国民健康保険特別会計	3,998,013	3,796,928	201,085
公共下水道事業特別会計	850,879	798,733	52,146
中部特定土地区画整理事業特別会計	390,055	382,431	7,624
介護保険特別会計	1,633,820	1,567,817	66,003
後期高齢者医療特別会計	208,522	206,832	1,690
合計	18,182,123	17,154,226	1,027,897

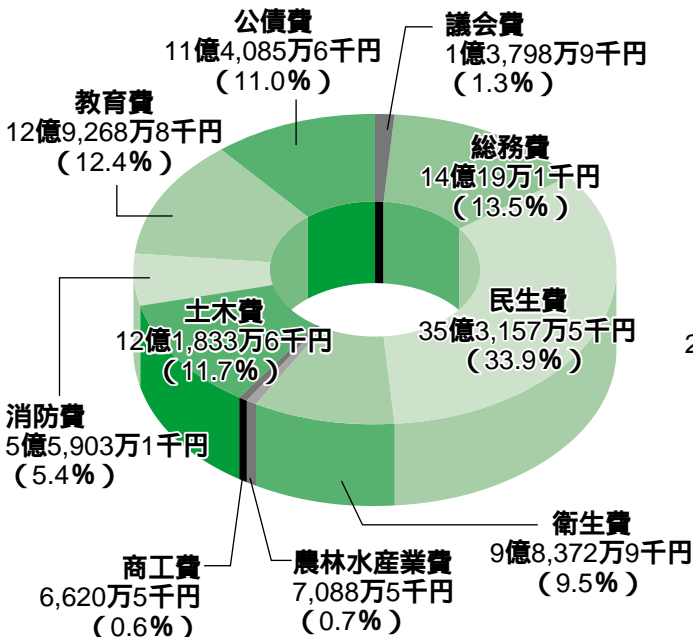
予算区分	収入	支出
水道事業	収益的	786,621
	資本的	620,176

資本的収入額が、資本的支出額に不足する額573,560千円は、建設改良積立金、減債積立金等で補てんした。

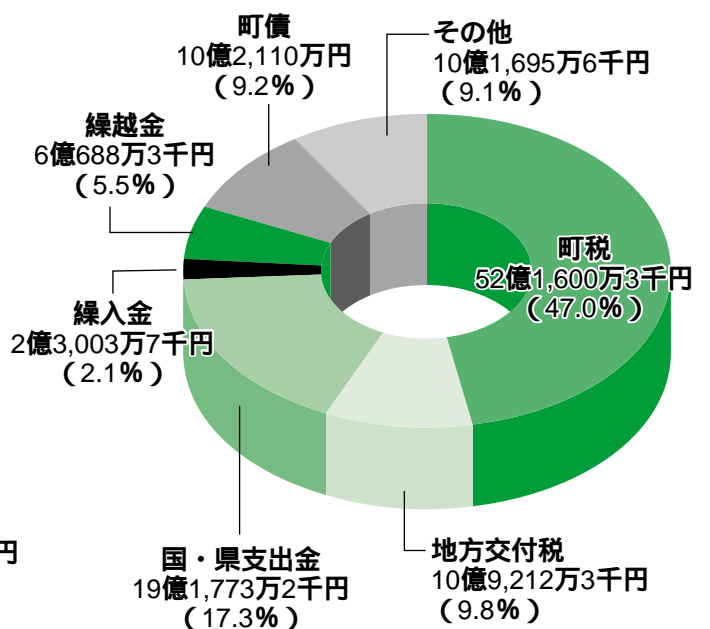
収益的収支...水道水を供給するなどの営業面の収支

資本的収支...配水管の布設などの改良事業面の収支

歳出 104億148万5千円



歳入 111億83万4千円



町の財政状況

平成23年度決算統計をもとに、町の財政状況をお知らせします。

経常収支比率

85・0%

人件費、扶助費、公債費などの毎年継続して固定的に支出される経費が、町税、地方交付税などの経常的な一般財源総額に占める割合を経常収支比率といえます。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を計る指標で、この数値が高いほど財政の弾力性がないことを示します。

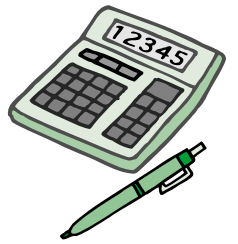
町の比率は、前年度と比較し、2.4ポイントの上昇となりました。

実質公債費比率

12・2%

町が借り入れたお金（地方債）の元金および利子の償還に必要な経費を公債費といいます。

実質公債費比率とは一般会



計の公債費および公営企業会計の公債費に充てられたとみなされる金額と町の経常的な一般財源総額の割合のことを指します。この数値が高いほど、返済の負担が大きいことを示します。

町の比率は、前年度と比較し、0.5ポイントの低下となりました。

町の借入金 (地方債)残高

121億8,453万7千円

町では、国が発行する赤字国債のような赤字補てんのため借入はできませんが、地方財政法の定めるところにより地方債として借入をすることができま

す。23年度の地方債の発行額は、小学校整備事業債、中部特定土地区画整理事業債、臨時財政対策債等の発行を行い、前年度に比べ2億7,918万1千円、21・5%の減となりました。

平成23年度実施の主な事業

一般会計のお金の主な使いみちを紹介します。

東日本大震災対応事業

5,329千円

子ども医療費

140,049千円

私立保育園運営事業

225,039千円

任意予防接種事業

50,452千円

太陽光発電システム設置費補助金

4,912千円



太陽光発電システム設置者に対しての補助を行いました。

農道維持管理・整備事業

1,163千円

商業活性化事業

11,790千円

観光振興補助事業

11,000千円

町道整備事業

155,277千円



生活道路の機能確保および歩行者等の安全を確保し、町道整備を行いました。

いな穂街道整備事業

61,090千円

消防救急無線デジタル事業

1,050千円

消防緊急車両購入事業

68,257千円



消防力の向上を図るため、化学消防ポンプ自動車を購入しました。

幼稚園振興補助事業

97,399千円

小中学校整備事業

306,109千円



伊奈中学校の耐震補強工事のほか、老朽化等に伴う各学校の改修・修繕工事を行いました。

図書館システム入替事業

7,808千円